

売れてる商品

日本ハム「シャウエッセン」

「美味なるものには昔がある」の名コピーととも到大ヒットした「シャウエッセン」。85年2月の発売から30年目の今年も、あらびきウィンナーのトップブランドとして快走。年間売上高は間もなく500億円に手が届く。



かつての日本で「ウィンナー」と言えば、赤く着色したウィンナーや皮なしウィンナー、魚肉ソーセージなどが一般的な存在。本場ドイツ風の本格的ウィンナーは家庭の食卓にはなじみのない高

30年目もトップ快走

級食材だった。だが「本場の味を求める時代がきつと来る」と読んだ日本ハムではドイツに何度も通いながら研究を重ね

「天然の羊腸を使う」「豚肉100%を使い、あらびきで肉の風味を生かす」「程よくスモークして豊かな薫りを引き出す」という3つの重要ポイントを発見。試行錯誤の末に生まれたのが「シャウエッセン」だった。

画期的だったのは、かむと「パリッ」と音がするはじける皮の食感だ。それまで家庭ではフライパンで焼いて食べるのが普通だったウィンナーだが、シャウエッセンはその食感を生かす「茹でて

14年1～3月金額ベース

RDSスーパー
単品ランキング

ソーセージ

順位	前回同期	商品名	メーカー	構成比	前年比
1	1	シャウエッセン 2束	日本ハム	8.8	108.6
2	2	燻製屋熟成あらびきウィンナー 袋 85g×2	丸大食品	7.2	105.9
3	3	アルトハイエルン 22g×2	伊藤ハム	5.8	91.1
4	4	香薫あらびきウィンナー 2P 200g	ブリマハム	5.3	112.5
5	6	パリッ朝食ウィンナー 250g	グリコハム	3.3	120.1
6	5	森の薫りウィンナー 97g×2P	日本ハム	2.5	57.0
7	8	ポークピッツ 82g	伊藤ハム	1.4	105.5
8	9	あらびきフランク 357g	米久	1.4	104.8
9	11	味の主演あらびきテイスティウィンナー 260g	丸大食品	1.3	117.2
10	63	あらびきウィンナー 290g	福留ハム	1.1	37.7

食べる」という食べ方を定着させた。同社では発売30周年を前に原点に立ち返り、おいしさを最大限に引き出す3分間ボイルの食べ方を提供する。メニューを提供している。

記事・表中の市場データは流通システム開発センターの業界POS「RDS」を用い、マーチャндаイジング・オンの分析ツール「Piano-POS」で集計・加工した